

二月十九日

九時半研究室。雑事。十時高山邸打ち合わせ。十一時銀花青戸さん来室。十二時フジタ来室。十三時博士論文審査会。十七時前中川さん、友部さん、栗畑君来室。聖徳寺いよいよ陣頭指揮しなければいけなくなってきた。体がもう一つあつて欲しいが、依頼主から見れば、どうしても私に依頼したのだから私が全てやって欲しいと考えるのは当たり前だろう。一人だけでは出来ぬ仕事の辛いところである。しかし、出来上がった時には喜んでいただけだろうと信じてやるしかない。十八時小笠原さん、ピースウィンドスタッフ来室。二〇時過まで会談。小笠原（ナリー）さんと遅い会食。考えてみれば、今日初めての食事だった。小笠原さんからこんな生活しているはダメだと叱られた。本当だ。でも仕方ない。二十三時半世田谷村に戻る。夜食をとる。

二月二〇日

一階というより、地べたに生えている梅の木が八分咲きになった。この白梅を二階の台所から眺められるようにというのが家内の強い望みだったから、今の季節は本当は世田谷村は家内の季節なのだ。うさぎのツトムにトイレの場所を教えるために、バラバラに解体していたカサプランカという名のソファアが久し振りに再登場し、ツトムのトイレにならぬように今、そこに座らされている。しかし、そんな風にお地藏さんみたいに安楽椅子に座っ

ているだけで、休んでいる気持ちになるものだなあ。しかし、いいモノ作るのが一番の休みになるのをもう知っているから。今のまま作り続けるしかない。うまく空白の時間を作る工夫をしないと。朝風呂に入る。青森ヒバの木の風呂で、客観的に考えてみれば梅の花を眺め、朝ヒバの風呂につかっているのは、充分な休みである。私は十分に休んでいるのである。そう自分に言い聞かせる。九時三〇分研究室。日本建設来室。十時大田区伊藤さん来室。伊豆高原に家を建てる事の相談。十二時丹羽君ホームページ編集の件打ち合わせ。十二時三〇分講談社園部さん来室。幾つかの興味ある件の相談。十四時卒論説明会。住宅打ち合わせ。十五時陸海博士論文相談。配島工業来室。十七時第一次大学院面接。十九時新井薬師野田宅訪問。二〇時半研究室に戻る。三ノ輪藤井邸打ち合わせ。ともすれば実務だけの堂々巡りに終りかねぬスタッフに少しばかりの造形論的レクチャー。シユールレアリズムと建築的発想の私的連関性について。建築デザインの奥深さは社会の俗性と、それでも時に生まれる私的聖性との振り子状の運動性にある。今日は大学院の一回目の面接もやってしまった。二十五日を二回目の面接とした。上海Gスタジオまでやってきた優秀な連中の大半が入室希望で、今年の春からが楽しみである。彼等も参加し得るいくつかのプロジェクトをおこそう。